

卒業研究		演習	准教授 八木 孝幸	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130401	

1. テーマ

経営学における諸理論の研究

2. ゼミのねらい・概要

昨年度は、経営学についてより専門的に深く理解してもらった。そこで本年度はその知識を基にして、ゼミ生ひとり1人が興味を持ったテーマについて、より深く専門的に研究してもらおうという意図の下に開講される時間である。なお、この『卒業研究』の履修は、『専門ゼミA・B』の単位修得済みの者のみ可能である。

3. ゼミ計画

ゼミ計画は概ね以下の通りであるが、所属ゼミ生の力量を見極めながら適宜計画の修正を行う予定である。

<p>〈前期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス（履修指導など） 2. 各ゼミ生による卒業研究のテーマ設定 3. テキストの内容の解説とまとめ①（スポーツビジネスの定義） 4. テキストの内容の解説とまとめ②（日本におけるスポーツビジネスの展望） 5. テキストの内容の解説とまとめ③（企業によるスポーツ活用） 6. テキストの内容の解説とまとめ④（スポーツビジネスにおけるリスク） 7. テキストの内容の解説とまとめ⑤（スポーツ用品ビジネス） 8. テキストの内容の解説とまとめ⑥（スポーツ食品ビジネス） 9. テキストの内容の解説とまとめ⑦（スポーツメディアビジネス） 10. テキストの内容の解説とまとめ⑧（スポーツイベントビジネス） 11. テキストの内容の解説とまとめ⑨（スポーツ施設の建設とスタジアムの経営） 12. テキストの内容の解説とまとめ⑩（プロスポーツビジネス） 13. テキストの内容の解説とまとめ⑪（アスリートのマネジメントとエージェント） 14. テキストの内容の解説とまとめ⑫（世界のスポーツビジネス） 15. 前期まとめ 	<p>〈後期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス（履修指導など） 2. ゼミ生による卒業研究内容の中間発表と配布資料のまとめ①（産業組織の構造） 3. ゼミ生による卒業研究内容の中間発表と配布資料のまとめ②（スポーツ産業の位置づけとサービス&ホスピタリティ） 4. ゼミ生による卒業研究内容の中間発表と配布資料のまとめ③（スポーツ用品産業の特徴） 5. ゼミ生による卒業研究内容の中間発表と配布資料のまとめ④（マーケティングの歴史） 6. ゼミ生による卒業研究内容の中間発表と配布資料のまとめ⑤（スポーツマーケティング） 7. ゼミ生による卒業研究内容の中間発表と配布資料のまとめ⑥（スポーツ組織におけるガバナンス） 8. ゼミ生による卒業研究内容の最終発表と配布資料のまとめ①（本質を生かしたスポーツ産業） 9. ゼミ生による卒業研究内容の最終発表と配布資料のまとめ②（行動経済学とは） 10. ゼミ生による卒業研究内容の最終発表と配布資料のまとめ③（行動経済学とスポーツ） 11. ゼミ生による卒業研究内容の最終発表と配布資料のまとめ④（スポーツによる経験価値の創造） 12. ゼミ生による卒業研究内容の最終発表と配布資料のまとめ⑤（経験価値創造によるスポーツビジネスの革新） 13. ゼミ生による卒業研究内容の最終発表と配布資料のまとめ⑥（スポーツにおける組織と文化） 14. 卒業研究成果物提出と発表会に際しての諸注意 15. 総まとめ
--	--

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

当ゼミ前期においてはテキストを使用するので、毎回ゼミ計画を参考に事前に学修予定の箇所に対する2時間以上

の予習を期待する。また、ゼミ終了後にはまとめを含めて学修内容に対する2時間以上の復習を期待している。加えて、後期においては自身の卒業研究内容の発表のためのパワーポイント用のスライド等の事前作成が必要となる。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

前期においては、学修予定であるテキストの内容に解説を加えた後、用意した設問に解答する形でゼミ生自身の手でペーパーに要点をまとめてもらう予定である。なお、所属ゼミ生の人数にもよるが、後日、要点をまとめたペーパーを一旦提出してもらい、『卒業研究』担当教員が内容をチェックあるいは添削後、返却を行うことも考えている。

また、当『卒業研究』ではゼミ生の習熟度を測る目的で期末試験（あるいはレポート）を実施するが、後日、解答例等を掲示板に掲示する予定である。

6. ゼミにおける学修の到達目標

社会人となった際に、企業社会のシステムや、取引先及び所属組織のメカニズムなどが容易に理解できる程度の専門知識修得を目標としている。

7. 成績評価の方法・基準

課題（定期試験やレポート等）と卒業研究成果物の採点結果（50%）及び『卒業研究』に対する取り組み姿勢（50%）によって評価する。ただし、課題（定期試験やレポート等）と卒業研究成果物の採点結果か『卒業研究』に対する取り組み姿勢の評価のいずれかが59点以下になった場合は、不可とする。

8. テキスト・参考文献

〈テキスト〉

EY 新日本有限責任監査法人編『最新スポーツビジネスの基礎（第2版）』同文館出版、2021年。

〈参考文献〉

横山勝彦・八木匡・松野光範編『スポーツの組織文化と産業』晃洋書房、2012年。

9. 受講上の留意事項

座席表作成の都合上、所属ゼミ生は初回より必ず出席のこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。